



# むなかた市議会だより

令和3年3月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集部  
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号  
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591  
●市議会ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html

## 令和3年度 当初予算の4つの柱

### ①新型コロナウイルス感染拡大への対応……2.6億円

令和2年度に引き続き、ワクチン接種体制の確保と実施<sup>(※)</sup>、新たな生活様式に対応するためのデジタル化の推進、消費喚起による地域経済の活性化など

※ワクチン接種については、令和2年度予算を繰り越して実施するため、当初予算額には含まれません



### ②都市再生の推進……0.5億円

日の里地区及び自由ヶ丘地区をモデル地区とした既成住宅団地の活性化、公共交通体系の再編のための調査・研究、空き地・空き家の利活用など



### ③稼ぐ力の強化……17億円

税外収入の確保、定住化の推進による財政基盤の強化、商工・観光事業者支援や農林水産業者の経営支援による地域産業の活性化など



### ④防災対策の強化……2.3億円

防災・減災の実現のため、地域組織や消防団などの地域資源の多面活用による地域防災力の強化など



令和3年度当初予算 賛成多数可決

## 令和3年3月定例会のあらまし

一般会計350億9442万3千円

令和3年第一回宗像市議会定例会が、2月26日から3月26日までの29日間で開催され、市長提案の議案32件、議員提案による発議2件を審議しました。

今定例会では、令和3年度の一般会計当初予算を審議し、賛成多数で可決しました。1ページに一般会計予算の主な事業の概要と予算委員会での主な質疑を掲載しています。2ページに特別会計などの当初予算について、3ページに議員の賛否について掲載しています。

## 財政基盤の強化



ふるさと寄附の獲得に向けたPRを強化し、返礼品の充実や魅力向上に取り組む。また、定住人口増に向けて若い世代をターゲットに定住補助を実施し、市の魅力を広く発信する。

### 主な質疑

**問** 定住化の推進として子育て世代に選ばれるために、どこに重点を置いて取り組むのか。

**答** 保育環境の充実、安全・安心な住まいなどのニーズが高まっていると認識している。今後もニーズを把握しながら取り組みたい。

## 都市再生の推進



日の里地区ではオンデマンドバスの実証運行や地区の将来像を定める日の里地区都市再生ビジョンの策定などを開始。自由ヶ丘地区では店舗型移動サービスや自動運転を活用した実証実験などの地域課題解決に向けて取り組む。

### 主な質疑

**問** 高齢者や障がい者などのアプリによるオンデマンドバスの予約が難しい人への対策は。

**答** アプリの活用が難しい場合は電話予約を推奨しているが、電話予約も難しい人については、今後対策を検討していきたい。

## 主な事業

## 防災対策の強化



ため池ハザードマップの配布、水田における洪水緩和機能の活用に向けた「田んぼダム」の調査・研究を行う。また、モデル地区において自主防災組織の避難行動マニュアルの作成などを実施。

### 主な質疑

**問** ため池ハザードマップと防災マップを1冊にまとめることはできないか。

**答** 今後は防災マップの更新にあわせて、できるだけ1冊にまとめることを検討したい。

## 地域産業の活性化



若手就農者の長井さん

農業従事者の省力化・高収益化の支援や、中小企業及び新規創業者支援、また事業者のICT化を支援する。また、令和4年度にかけて鐘崎漁港の荷さばき所の建築工事などを実施。

### 主な質疑

**問** 農業振興事業費の畦畔等管理省力化支援事業では、どのような支援を行うのか。

**答** 草刈り作業の負担軽減のため、防草シートの施工などの取り組みに対し補助する。

## デジタル化の推進

### (市民サービスの向上)

児童手当申請や市民税申告書の作成などのデジタル化を実施。書類による行政手続き以外に、オンラインでの申請を可能とする。また、国の補助を活用し、市内すべての保育所に登降園管理や午睡チェック機能のシステムなどを導入する。

### (行政事務の効率化)

一部行政事務へのRPA<sup>(※1)</sup>やAI-OCR<sup>(※2)</sup>などの導入を進める。デジタル化のコーディネートを担う外部人材を活用する。

### 主な質疑

**問** 今後のデジタル化の見通しは。

**答** 令和3年度から改めてデジタル化を進める業務を洗い出し、3年間かけて全庁的なデジタル化を推進する予定である。

(※1) RPA = [Robotic Process Automation] の略称で、人間がコンピュータを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動的な操作によって代替すること。  
(※2) AI-OCR = Optical Character Recognition の略称で、手書きや印字の紙データを読取り、デジタル文字に変換する技術のこと。このOCR技術にAI (Artificial Intelligence = 人工知能) を搭載し、前後の文字や学習データから文字を連想することで、より高い精度の文字認識を可能にしたもの。

その他注目の事業

行財政改革推進費

331万円



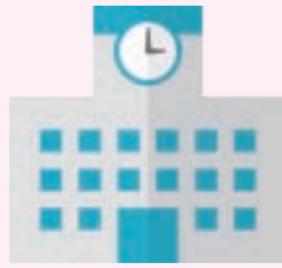
おくやみ窓口

おくやみ窓口の運用開始

窓口業務改革として、おくやみ窓口の運用を開始する。遺族の負担軽減を図るため専用窓口を設け、最大11課13係が関係する手続きを1カ所で行う。

県立特別支援学校誘致事業費

2億1,039万円



県立特別支援学校の誘致

福岡県が令和7年度に新設予定の県立特別支援学校について、福岡教育大学敷地内の用地整備を実施。令和3年度中に造成工事に着手し、令和4年度までに用地整備を完了する。

デジタル化推進事業費

2,782万8千円



電子入札システムの構築

入札事務の効率化と、入札参加者・発注者双方の事務負担を軽減するため、インターネットを活用した電子入札システムを構築する。

令和3年度特別会計など当初予算 全7会計 原案可決

本市には一般会計以外に、▽住宅新築資金等貸付事業特別会計、▽国民健康保険特別会計、▽後期高齢者医療特別会計、▽介護保険特別会計、▽宗像市・福津市介護認定審査会特別会計、▽渡船事業特別会計、▽下水道事業会計の7つの会計があります。本定例会において、これら7つの会計の当初予算は、全員賛成もしくは賛成多数ですべて可決しました。

全員賛成で可決

国民健康保険特別会計

国民健康保険税

据え置き

主な内容は次のとおりです。

【事業勘定】 予算総額は97億585万5千円、前年度から4億4939万2千円の減額となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えなどにより令和2年度の医療費が減少したことを踏まえ、大幅な減額となっています。

また、令和3年度の国民健康保険税の税率・税額は国民健康保険基金を活用して、医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分のいずれも据置きとされました。

【直営診療施設勘定】

予算総額は7638万7千円で、前年度比8.4%、697万6千円の減額となりました。大島の被保険者数が減少傾向にあるため、診療収入の減少を見込んだことにより減額となっています。



主な質疑

問 コロナ禍で訪問による保健指導が難しくなっていると考えるが、その対策は。

答 令和3年度からは、これまでの訪問による保健指導に加え、タブレットなどを活用した保健指導にも試験的に取り組む予定である。

主な意見

《賛成者の意見》

▽新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対する市独自の支援策を評価する。医療費適正化については、今後も目標値に近づけるように工夫し、特定健診や特定保健指導によって市民の健康の維持増進につながるよう努力してほしい。

▽国民健康保険税を据え置いたことを評価する。ただし、国民健康保険における子どもの均等割については、国の政策に先んじての軽減実施を検討してほしい。

賛成多数で可決

介護保険特別会計

介護保険料 引き下げ

主な内容は次のとおりです。 予算総額は78億3604万6千円で、前年度から6480万9千円の減額となりました。

令和3年度は、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の初年度であり、第8期の介護保険料基準月額を、宗像市介護給付費準備基金を活用し、5000円に引き下げます。また、新たな取り組みとして、認知症の人やその家族のニーズと支援をつなぐ仕組みとして認知症サポーターなどによるチームオレンジの立ち上げを支援します。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したことなどによる第1号被保険者の介護保険料の減免措置については、令和3年度も国の基準に沿って実施される予定です。

主な質疑

問 認知症総合支援事業費として約1879万円計上されているが、認知症への対応はこの予算額で十分と考えているのか。

答 認知症総合支援事業を含む地域支援事業は、国が上限額を定めており、その範囲内で実施している。今のところ十二分に対応できる範囲だと判断している。

主な意見

《賛成者の意見》

▽介護給付費準備基金を活用して介護保険料を引き下げたことを評価する。地域包括ケアシステムの構築には地域住民の協力が不可欠であるが、既に地域で活動している住民主体のグループを支援し、主体的な活動を担ってもらう手法も検討してほしい。

《反対者の意見》

▽介護保険料の引き下げは評価するが、抜本的に介護保険制度を変える時期にきており、一人一人の高齢者に寄り添った制度設計を再考すべきである。



全員賛成で可決

渡船事業特別会計

主な内容は次のとおりです。 予算総額は5億5145万4千円で、前年度から1071万2千円の増額となりました。 歳入では、新型コロナウイルス感染症の影響による乗客数の減少を見込み、事業収入が前年度より減額となっています。

なお、令和3年度から、機構改編により渡船事業の所管を総務部から産業振興部に移管し、島の振興と渡船の連携を強化することで、観光促進による交流人口の拡大と、それに伴う利用客の増加による渡船事業の経営改善などを図ります。

主な質疑

問 令和3年度の事業収入を前年度比約7.7%の減と見込んでいる理由は。

答 前半は前年度比1割強の収入減を見込んでいるものの、後半は持ち直す見込み、全体としては7.7%の減額と推計している。乗客数としては、大島航路で約20万3千人、地島航路は約6万6千人と見込んでいる。

主な意見

《賛成者の意見》

▽島民の生活の基盤を保障するためにも、渡船は重要。3隻から2隻体制へという大きな変更を提案するのであれば、島民自身も頑張りようと思えるような政策を島民と一緒に検討してほしい。

▽生活航路であるので、まずは安全で安心できる航路を維持してほしい。新型コロナウイルス感染症拡大による影響の予測は難しいが、少しでも多く事業収入が得られるよう全庁的に取り組んでほしい。また、航路再編については島民への丁寧な説明や意見交換を行いながら進めてほしい。



# ●●● 提出議案と議決結果 ●●●

3月定例会で審議した議案のうち、主な議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

## 【全員賛成で可決した主な議案と内容】

議案名	内容
財産の取得について	宗像市立学校11校の給食施設に設置する厨房機器を購入するもの
宗像市介護保険条例の一部を改正する条例について	介護保険料の額を見直すこと及び介護保険法施行令が改正されたことに伴い、条例の一部を改正するもの
市道路線の認定について	名残54号線ほか全7路線について市道路線を認定するに当たり、道路法の規定により、議会の議決を求めるもの
宗像市議会委員会条例の一部を改正する条例について【議員発議】	宗像市行政組織条例の改正に伴い、委員会が所管する部が変更となることから、条例の一部を改正するもの
宗像市議会会議規則の一部を改正する規則について【議員発議】	会議及び委員会の欠席に関して産前産後の規定を追加し、請願に係る署名、押印などに関する規定を改正するもの

## 【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案番号	議案名	議員氏名 議決結果	川内	石松	木藤	石田	岩岡	上野	井浦	笠井	小林	吉田	森田	安部	岡本	北崎	伊達	福田	新留	石松	末吉	
			亮	修	裕	和	良	崇	潤	奈	栄	剛	卓	芳	陽	正	正	昭	久	和	孝	
13	宗像市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	
24	令和3年度宗像市一般会計予算について	原案可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆
27	令和3年度宗像市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆
28	令和3年度宗像市介護保険特別会計予算について	原案可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆
31	令和3年度宗像市下水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆

※神谷建一議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。



▶ 研修の様子

▶ 広報編集部会でも活用しています

### タブレット端末を導入しました

宗像市議会では、新型コロナウイルス感染症拡大への対応及び電子化による議会運営の効率化を進めることを目的に、タブレット端末を導入しました。今後は、執行部と調整しながら、議会における議案書や予算書などの資料を順次電子化し、ペーパーレスによる経費削減や運営の効率化を図るほか、WEB会議の導入に向けた検証を行うなど、ICTによる効率的な議会運営の可能性を探っていきます。

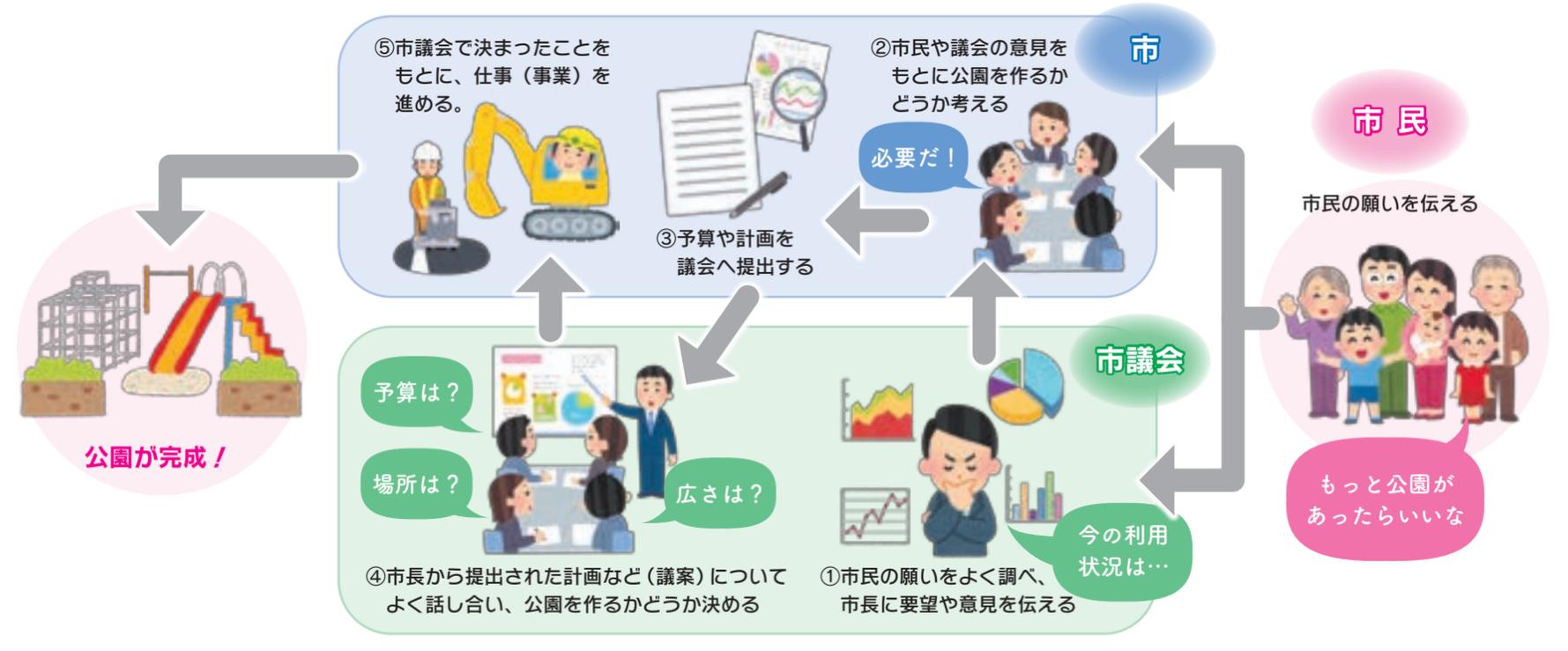
### タブレット研修を開催しました

2月10日には、議員研修としてタブレット研修を開催しました。今回は、今後の本格導入に備え、実際にタブレット端末を使い、基本操作や資料の閲覧・編集方法など、議会運営で必要な操作を中心に研修が行われました。今後も継続的に研修を行うほか、各議員が相互に教え合うなどして、タブレット端末を有効に活用し、効率的な議会運営ができるよう取り組んでまいります。

## 市議会のしくみ

～たとえば公園をつくるには～

いろいろな世代の方に市議会を知ってもらうため、「公園をつくるには」を例に、市議会の流れをご紹介します。



# 会派の主張

宗像市議会には、令和3年4月1日現在で、7つの会派があります。それぞれの会派の活動方針などを紹介します。

## 宗像志政クラブ

代表 伊達 正信

宗像人の豊かな精神と共に、  
新しい宗像の創造を



(後列左から) 森田卓也議員、小林栄二議員、木藤裕司議員、石田和代志議員、石松修議員、井浦潤也議員、安部芳英議員 (前列左から) 神谷建一議長、伊達正信議員、吉田剛議員

宗像志政クラブは志を同じくする者が力を合わせて政治の道を追求しようという思いで8年前に結成されました。結成3期目となる本会派は議員定数20人中10人を占める最大会派となり、それぞれ地域に根差し、多種多様な人生経験を持つ個性豊かな議員で結成しています。

私たちは良識あるサイレントマジョリティーの声を聴き、広く幅のある集合値によって市政に反映させます。二元代表制の下、市政運営の抑制と均衡による緊張関係を保ちながら安全・安心な宗像づくりのため、スクラムを組んで汗をかきます。

また、最大会派として国・県とのつながりや人脈を生かし、未来を見据えて前向きな提案を行ってまいります。

令和3年度施政方針には、「出光佐三氏の『互譲互助』という言葉は、お互いに助け合い、自分たちの利益ばかりを追求するのではなく、世のため人のためにことを成す古くから宗像人が大切にしてきた精神であらう」とあります。

これは、宗像の豊かな精神性を象徴する言葉であり、アフターコロナの価値観に通じるものだと感じています。私たちは宗像人の一員として、激変する社会状況の中で本市が持続するためにピンチをチャンスに変え、強く、新しい宗像を創造してまいります。

## 日本共産党

代表 末吉 孝

今こそ！  
命・暮らしを  
守るために全力で奮闘



(左から) 川内亮議員、末吉孝議員、新留久味子議員

日本共産党市議団は、末吉孝・新留久味子・川内亮の3人の会派です。

住民の暮らし優先の市政を目指し3人で力を合わせ奮闘する決意です。

新型コロナウイルス感染症の発生から1年以上が経過し、住民の命・暮らし・営業をどう守っていくのか、このことが自治体に課せられています。

この間、共産党市議団は新型コロナウイルス感染症拡大から住民を守る対策を求め、県や市に申し入れを行ってきました。

これにより、県内でもいち早い事業者への支援金の給付、PCR検査センターの設置、市立学校に感染予防のための消毒作業員の配置、自宅待機中の陽性者へのパルスオキシメーター貸し出しなどの対策が実現しました。

今後も、どんな時でも住民の立場に立って、皆さんの大切な税金の使い道を厳しくチェックします。コロナ禍で学んだ人間中心のマンパワーで命・暮らし・福祉・教育の充実を目指し、全力で奮闘します。



### 市民目線で 市政を厳しく チェックしていく

## 市民連合

代表 福田 昭彦

市民連合は市民と共に歩んでいく会派です。常に市民目線で市政を監視することが大変重要だと考えます。時に行政は、市民不在のまま政策を押し進める可能性があります。そこで、行政が行う施策が果たして市民に本当にプラスになるのかどうかを市民目線で厳しくチェックし、市民ファーストになる施策を推進していかねばならないと考えます。この政党にも属さない、完全無所属会派だからこそ、自由に意見を主張することができるのだと考えています。



## 公明党

代表 石松 和敏

### 「市民目線・生活者視点」で 市政をチェック

公明党は「大衆とともに」の立憲精神を大切に、今年に結党57周年を迎え、自公連立政権発足21年を経過。私たち公明党議員は、庶民の代表として「市民目線」「生活者の視点」を信条に地域や市民の小さな声を聴き、共に寄り添い課題解決に向けて活動しています。

①国が導入するワクチン接種記録システムに対する考え方の3点について市に聞き取り調査を行いました。市政においても、子ども相談支援センターの設置、乳幼児医療費の拡充、医療費適正化の推進、ふれあい収集の推進、学校プール老朽化による水泳授業の民間委託など数多くの政策提案が実現。今後とも市政運営に対し政策推進のアクセルと行き過ぎを抑えるブレーキの役割を果たします。



### 誰もが孤立せず、 安心して 暮らせるまちに

## ふくおか市民政治 ネットワーク

代表 笠井 香奈枝

ふくおか市民政治ネットワークは、この30年間、宗像市議会に女性議員を送り出し続け、市民の皆さんと生活の課題を共有し、一緒に解決策を考え活動してきました。

新型「コロナウイルス」感染症の流行により、私たちの生活・経済は大きな変化を余儀なくされ、生きにくさを抱える人が増えています。特に、子育てや介護をする家族の支援など、誰もが孤立せず、安心して暮らせるまちを目指して、政策提案などもしています。今後、財政状況が一層厳しくなるため、税金の使い道の取捨選択がますます重要です。これからも、暮らしと議会をつなぎ、市民目線で活動を進めていきます。



## 未来むなかた

代表 北崎 正則

### 未来へ向け、 まちの新たな魅力をつくる

①地域の暮らしと未来を守る  
②多世代が交流し、安心して住み続けられるまち

未来むなかたは、2期目の上野崇之議員、3期目の北崎正則で結成しています。この2人で、働く人たちとその家族のために、そして暮らしている日里地区や玄海地区の課題解決のために、日々地域の方々の声に耳を傾け活動しています。私たちは、市民目線を忘れずに、次の3つの柱を大切にしています。(3)の柱



### 古い政治を壊し、 新しい政治を創る

## 日本維新の会

代表 岩岡 良

日本維新の会は、「個人・地域・国家の自立」という政治理念の下に結党しました。しがらみにとらわれることがないように、特定の団体・組織から一切の支援を受けることはなく、常に「逃げずに真直面から」政策提言を行うことで、これまでの政治の仕組みを変えていきます。

また、国や県の判断がなければ市民の生活を守れない現行の地方自治制度を根本から見直し、権限と財源の地方移転を希求します。そして、今後も本場に必要なら人の支援を可能とするために、「身を切る改革」を実践し、さらなる議会改革・行財政改革に挑んでまいります。

# 代表質問

代表質問とは、市政の基本方針である施政方針に対して、2人以上で構成する会派の代表質問者がその見解を問うものです。

○令和3年3月2日に、各会派を代表する議員が、令和3年度の施政方針に対して質問を行いました。

○令和3年度の施政方針は、4月1日号のむなかたタウンプレスや市ホームページに掲載しています。

## 宗像志政クラブ



代表質問者

吉田 剛

### 施政方針について



持続可能なまちとなるために、新型コロナウイルス感染症対策に全力を尽くし、地域経済の回復や市民の生活支援など安心と日常を取り戻すことが最優先事項である。同時に、時代の潮流を読み解き変革すること、従来からの社会行政課題を解決するアフターコロナにおける宗像の未来像を示す必要がある。各種事業でビジョンを描き、宗像の未来像を希望の持てるものにすべきである。

新しいビジネス環境の整備に重点を置き、アフターコロナを見据えた事業者の支援を行う。

防災対策の進め方は、

国土強靱化地域計画に基づき、優先度や費用対効果を考慮し、ソフト面ハード面を効果的に組み合わせ、防災や減災、迅速な復旧に資する施策を市民と共に進める。

財政基盤の強化は、

経常経費をはじめ通常の業務に必要な経費の見直しを進め、歳出を可能な限り削減して緊急的な財政出動に備えるとともに、財政基盤の強化に努める。

接種を円滑に進めるため、身近なかかりつけ医などでの個別接種と公共施設などでの集団接種を行う方向で準備する。

問 団地再生の展開は、

宗像口の里モデルは、住民とともに地域の価値向上に取り組み先駆的な官民連携モデルであり、今後は、地域の成り立ちや特性を踏まえ自由ヶ丘地区を対象に展開する。「駅まち」空間の一体的な整備は、JR東郷駅周辺において駅と都市機能などの空間の共有と機能連携の手法を検討する。

問 稼ぐ力を強化するため努力した事業者が報われる仕組みは、

ICT化の推進など、



日の里地区

## 日本共産党



代表質問者

新留 久味子

### 施政方針について



コロナ禍における自治体の最大の役割は、市民の命・暮らし・営業をどう守っていくかである。

問 新型コロナウイルス感染症拡大を抑え込む対策としてPCR検査体制の拡充が必要と考える。市長の見解は、

令和2年11月以降、身近なかかりつけ医で相談・検査ができる体制になり、検査体制は大幅に拡充されている。現体制を維持したい。

問 市長がいう「稼ぐ力」とはどのような意味で引用しているのか。

答 税収や税外収入を確保すること、地域経済の好循環などにより地域産業の活性化が図られることである。また、行政も知恵を絞るといった意味でも引用している。

問 国民健康保険制度の子どもの均等割を軽減するべきと考えるがどうか。

答 国が、令和4年度分から未就学児の均等割を最大ら軽減する制度改正を進めており、これに基づき実施する予定。

問 デジタル化を進めると同時に個人情報保護のルールを強化する条例改正が必要では、

答 デジタル化を進めるうえでの個人情報などの漏えいには注意していく。

## 公明党



代表質問者

石松 和敏

### 持続可能な自治体経営の継続を



問 マイナンバーカードの活用や電子申請の推進など、今後の展開は、

答 現在住民票などのコンビニ交付、出生時の子ども医療証の電子申請が可能。新年度は図書館カード機能の付加、児童手当の電子申請を整備予定。

問 電子申請化を進めるには書類の押印廃止も必要。全書類の件数や押印廃止が決定した件数などは、

答 押印が必要な申請書類は約1700件、このうち法令などで押印が定められているものが約

## 未来むなかた



代表質問者

北崎 正則

### 宗像を元気にするために



問 すべての市民が新型コロナウイルス接種を完了する時期は、

答 当初より遅れているが、本年冬前までの完了を目標に調整している。

問 コロナ禍において小中一貫コミュニティ・スクール導入は、

答 飲食・宿泊業については、先払いによる事業

どう進めるか。

答 コロナ禍のため、全学園への導入を1年延期した。協議や説明は可能な限り進めている。

問 飲食・宿泊・漁業へ市独自の支援をすべきと考えるがどうか。

答 飲食・宿泊業については、先払いによる事業

問 コロナ禍における新年度の市税などへの影響及び予算編成の基本方針、重点的に予算配分した分野や事業は、また財政運営の基本姿勢を変更するののか。

答 新型コロナウイルス対策に必要な予算を優先的に編成し、都市再生や稼ぐ力の強化、防災対策などに取組む。今後も経常経費の見直し、市債残高の抑制や中長期における健全財政の維持に努める。



者応援チケット販売、プレミアム付商品券発行、宿泊促進キャンペーンなどを実施予定である。漁業については、市独自の支援に加え、油代の支援を県に要望している。

問 男女共同参画社会やあらゆる差別の解消を推進しなければならないと考えるが市長の見解は、

答 男女共同参画の実現やあらゆる差別の解消を目指して、あらゆる教育啓発の取り組みを進める必要がある。



令和3年3月定例会

# 一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和3年3月3日、4日、5日の3日間にわたって、13人の議員が合計22項目の質問を行いました。

- ◆質問を行った順に掲載しています。
- ◆掲載する項目や内容は質問を行った議員に確認したうえで掲載しています。
- ◆質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは5月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



子ども・若者を支える仕組みを  
宗像志政クラブ／安部 芳英



**問** 大型商業施設の空きスペースに青少年の拠点や子ども居場所コーナーを設置できないか。

**答** 商業施設及び業務委託先の市民活動団体と協議を行い、検討したい。

**問** 子ども110番の家について支援できないか。

**答** 行政としてどうあるべきか、関係部署と協議していきたい。

**問** 障がい者就労（自立）支援について、市内就労支援事業者などと連携し、静岡県袋井市の空き家等見守り管理事業のような取り組みができないか。

**答** 障がい者の特性に

合った作業があるかなど事業所と相談していきたい。

**問** 市役所などの公共施設で、行政やまちづくりと興味のある高校生や大学生などの若者をインターンとして受け入れる仕組みを検討できないか。

**答** 市内の高校、大学へ呼びかけるなど、今後検討していく。



新型コロナ対策自宅療養者支援を  
公明党／岡本 陽子



**問** 令和3年度から新型コロナナウイルス感染症対策本部の統括を所管する部門が健康福祉部健康課から新設の総務部危機管理課に移ることを機に、自宅療養者などが市に相談しやすい体制を整備してはどうか。太宰府市ではすでに取り組みが始まっているが、本市でも親族などから支援を受けることができない自宅療養者などに対して市独自の支援ができないか。

**答** 健康課では感染状況をしながら、県、保健所との協議の中で、市が自宅待機者などの生活支援

を行うことを提案したが、個人情報保護、誹謗中傷などの問題があることから、生活物資の購入代行なども含め、個人情報を守りつつ市としてできることを引き続き協議する。危機管理課が対策本部を統括することで、これまで以上に連携して全庁的に対策に取り組む。



携帯基地局建設のルール作りを  
ふくおか市民政治ネットワーク／笠井 香奈枝



**問** 市有地に携帯電話基地局を設置するに当たっての申請と許可の基準は、総務省総合通信局への申請、市有地の使用には地方自治法及び市財産規則に定める申請、許可が必要。基地局建設事業者に対する市の指導内容は、地区コミュニティ運営協議会の承諾を得ること、近隣住民への周知説明を求めた。

**問** 担当する部署・職員が異なっても、同じ対応となるように、ルール作りをすべきではないか。

**答** どの部署の職員でも

同じ説明ができるよう運用マニュアルを作成する。

**問** 住民とのトラブルを防ぐため、携帯電話基地局に特化した指導要綱が必要ではないか。

**答** 建築紛争の予防及び調整に関する条例に沿って対応し、条例を改正するのか新たに要綱を制定するのかが今後協議する。



自由ヶ丘地区再生への取組  
宗像志政クラブ／森田 卓也



**問** 自由ヶ丘地区の都市再生についてどのようなイメージを描いているか。

**答** 暮らしに必要な施設の集積や交通結節機能の充実を図り、安心して住み続けられる健康で快適な生活環境を実現したい。

**問** 自由ヶ丘地区における課題は何か。

**答** 住民の高齢化、地区南部での人口減少、移動手段の確保などである。

**問** 自由ヶ丘地区における課題解決への取り組みは。

**答** 自宅から公共交通までの移動を自動運転技術により支援する実証実験

やサービスが人の元へ移動する店舗型移動サービスの実証事業を行う。

**問** 自由ヶ丘3丁目交差点周辺の機能向上についてどのように考えるか。

**答** 交通結節機能の強化に加え、地域二丁目に対応した商業施設や中高層住宅を誘導し、魅力的で利便性の高い商業、居住機能の充実を目指す。



開発当時の自由ヶ丘地区



環境美化について  
宗像志政クラブ／伊達 正信



**問** 環境美化活動におけるボランティア団体「クリーンアップむなかた」の取り組みについて、これまでの経緯とその効果は。

**答** クリーンアップむなかたは、平成10年に結成され、道路などで区間を決めてのごみ拾いや、毎週日曜日に釣川河口兩岸と深浜海岸のごみ拾いを行っている。また、市との協働事業で、集められたごみの収集運搬と不法投棄防止のための監視パトロールもしていた。効果として、毎週日曜日のごみ拾いだけで

も、約3万2000袋のごみ収集の実績がある。

**問** ボランティア団体との話し合いの場を設け、活動マニュアルなどの作成に取り組むのはどうか。

**答** 活動していただいている団体のご意見を聞くためにも、団体との意見交換をする場については、検討していきたい。



不法投棄禁止の看板



城中小学の新校舎建設について  
日本維新の会／岩岡 良



**問** 本工事は総工費約44億円にも上る大型公共工事であるため、可能な限り地場企業が担い、市内経済を活性化させる必要があると考える。そこで本市における地場企業の明確な定義を伺う。

**答** 地場企業の位置付けは市内に本店・支店・営業所を有する事業者を指す。

**問** しかし、公募要件は他市企業も参加できる条件である。市のルールに従えば、地場企業間で競争性を担保できる環境が望ましく、地場企業育成が必要ではないか。

**答** 各地場企業が切磋琢磨し、企業力を高めるため、協力に努めたい。

**問** 濃厚接触者と同居する家族（陰性）などが、自主的に宿泊施設に避難する際の助成が必要ではないか。これは宿泊業支援にもつながると考えるがどうか。

**答** 課題もあり難しい。



性別欄の見直しを  
日本共産党／川内 亮



**問** 現在さまざまな自治体でジェンダーの壁をなくすために行政文書から性別欄を削除する動きが広がっている。本市の取り組みは。

**答** 様式の性別欄の全体的な見直しなどは実施していない。

**問** 自宅待機の間にくくなるケースを防ぐためにできることは。

**答** マスクの着用のほかまん延防止に必要なことは、対策本部などで検討していく。自宅療養者に対しては、県が手指で血中酸素濃度を測定するパルスオキシメーターの貸し出しを開始している。



5 ジェンダー平等を実現しよう

**問** 市庁舎でのマスク配布はできないか。また、

**問** 臭い緩和のためにバイオマス事業への積極的支援は考えているか。

**答** バイオマス事業は実施した際の液肥の処理が課題となり進んでいない。



これからの公共交通対策  
宗像志政クラブ／井浦 潤也



**問** 公共交通の一つでもあるコミュニティバスの利便性向上のためにも、総合的な観点で地区をまわりたいルートも検討できないか。

**答** 地域をまたぐとなると地域との合意形成も見直しが必要。ルート変更は、市内全域の公共交通体系の見直しに併せ検討したい。

**問** 日里地区で運行を開始したオンデマンドバスは、好きな時に乗車できる最適な公共交通と考えるがその見解は。

**答** 利便性の高さから利用者の増大が十分期待できる。

**問** スポーツ環境の充実

**問** 通学区域内の中学に入部したい部活動がない場合、区域外通学を認める検討ができないか。

**答** 部活動の存在を区域外通学の理由とすることはその影響も含めさまざまな観点から検討が必要。





安全安心なまちづくりに向けて  
宗像志政クラブ／石松 修



**問** 刑法犯検挙者のなかで再犯者の割合は依然として高い状態が続いている。再犯防止の観点から、市は更生保護の意義や保護司の役割をどのように考えているか。

**答** 再犯防止による地域社会の安全と安心を守るため、更生しようとする人の人権を守り、社会復帰と自立を助けていく更生保護の役割は大変重要なものと考えている。



更生保護のマスコットキャラクター  
更生ペンギンのホゴちゃん



オンデマンドバスの導入について  
市民連合／福田 昭彦



**問** 本年3月末をもって西鉄バスが日の里地区から撤退する予定。近年は超高齢社会が到来し、自動車免許を自主返納する高齢者も増え、地域における公共交通の役割は大きくなっている。そのうち、新たな公共交通機関としてオンデマンドバスが期待されているが、導入の進捗状況と課題、将来の展望を伺う。

**答** 3月から運行を開始4月以降は6時台の路線バスを除きオンデマンドバスのみ運行となる。課題の一つは利用者を増やすことであり、アプリ



オンデマンドバス「のるーと」

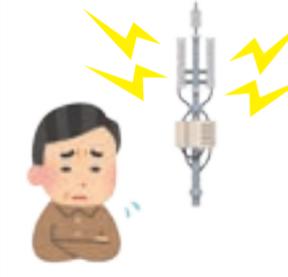


5G通信中継局建設について  
日本共産党／末吉 孝



**問** 日の里3G通信中継局駐車場、三倉地区公園敷地内など公共施設用地に民間携帯電話通信事業者による5G通信中継局建設計画があったが、市への手続き内容は、

**答** 日の里3G通信用地は行政財産の目的外使用申請書を受理し、周辺住民への計画の説明を行うよう伝えた。三倉地区公園は相談があり、住民立ち会いのもと現地確認を行ったが、いずれも建設の計画は中止となった。



5G通信中継局建設について

6月定例会の  
日程

日程	内容
7/2 金	本会議 (委員会報告、質疑、討論、採決)
29 火	委員会予備日
28 月	予算第2特別委員会(※2)
25 金	予算第1特別委員会(※1)
23 水	建設産業常任委員会
22 火	社会常任委員会
21 月	総務常任委員会
18 金	本会議予備日
17 木	本会議(一般質問、大綱質疑)
16 水	本会議(一般質問)
15 火	本会議(一般質問)
6/11 金	本会議 (議案上程、提案理由の説明)

▼一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。  
▼請願の提出締切日は6月4日(金)です。  
▼本会議と委員会は、市内の公共施設やホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。  
※新型コロナウイルス感染症の影響により日程・内容などが変更になる場合があります。傍聴などの際は事前にホームページで確認するか議会事務局へお問い合わせください。



デジタル化の推進で利便性向上を  
未来むなかた／上野 崇之



**問** デジタル化推進室の具体的取り組みは。

**答** 電子申請拡充や自動化技術などを活用した事務改善を行う。その後市民の利便性向上につながる取り組みを順次実施する。



健康ポイントアプリ



コロナ禍の漁業支援について  
宗像志政クラブ／小林 栄二



**問** 緊急事態宣言後の一時支援金や市の支援メニューは。

**答** 一時支援金は緊急事態宣言発令地域の飲食店及び直接・間接の取引がある事業者、また自粛の直接的な影響を受けている中小法人・個人事業者などが対象で、売上減少額が要件を満たせば支援の対象となる。市の支援



ドライブスルー de キッチンカーの様子

としまして、魚価低迷対策漁業者支援補助金と漁業者向けコロナ感染拡大予防対応支援補助金がある。

**問** 御製広場のにぎわいづくりについて12月から再度実証事業を行っているが、内容と現時点での事業の評価は。

いつでもどこでも視聴できます!

市議会ホームページで、一般質問や議案の審議などを行う本会議・委員会を生中継しています。また、これまでの本会議・委員会の録画映像も公開しています。スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。

市議会のくわしい情報や  
議会中継はホームページを  
ご覧ください。

宗像市議会 検索

お問い合わせは 議会事務局へ Tel.0940(36)1119

編集◆後◆記

新型コロナウイルスは世の中に多大な影響を及ぼしましたが、一方で今の日本の政治制度を根底から見直す良いきっかけになったとも感じています。私は、この問題提起に正面から向き合い、あるべき政治の姿を国民全体で議論すべきと考えます。

(岩岡 良)